



ぽっぽ屋



輸送サービス労組 東京支部

2023.12.3
No. 045

現場丸投げ体質の経営姿勢により

NO. 1

事故は起きるべきして起きた！

～京浜東北線 大森駅停車駅通過発生～



安全軽視の姿勢がお客さまに実害！

～事象について～

2023年11月30日10時19分、京浜東北線（赤羽駅発蒲田駅行）は大森駅停車の際、ブレーキ時機を誤り所定停止位置から6m（車両の先頭が1mホームから超える）ほど行き過ぎて停車。京浜東北線南行列車の大森駅はすぐ先に踏切が存在しており通過禁止駅となっている。その踏切の誤作動を防止するため指令の指示により大森駅を通過扱いとし次駅の蒲田駅で大森駅下車予定のお客さま救済、大森駅からご利用のお客さまについては次列車で救済を行った。これにより当該列車は3分遅延、大森駅降車のお客さまは10分、大森駅乗車のお客さまは5分の実害が発生。

当該列車の運転台には担当運転士と運転指導の2名。今後、京浜東北線に導入予定のATO（自動列車運転装置）のデータを作成するためブレーキはすべて運転指導の指示であったが、大森駅のブレーキポイントが定まっていなかったにもかかわらずおこなったため事故が発生した。大森駅は過去に様々な要因により、停止位置誤りによる通過扱いが何度も発生している要注意駅である。今回の事故は過去の経験を蔑ろにした安全を軽視の行動に過ぎない。試運転列車を走らせ、そこでしっかりとデータを取るのが本来のあるべき姿ではないでしょうか？

東京支部は現場と地本と連携し

会社の現実把握の脆弱性を是正させていく！